

令和 8 年度第 1 回 柏市社会教育委員会 議会 議 録

1 開催日時

令和 8 年 5 月 1 8 日（月）午前 1 0 時から正午

2 開催場所

ラコルタ 柏 5 階多目的室

柏市 柏 5－8－1 2

3 出席者

（委員）

荒井議長，土屋副議長，五味田委員，大石委員，大塚委員，佐藤委員，澤田委員，鈴木委員，高橋委員，野村委員，増田委員，山田委員

（事務局）

宮本生涯学習部長，村山中央公民館長，田所アフタースクール課長，森川図書館長，田中生涯学習課長，生涯学習課竹内課長補佐，同正能係長，同岡田主事，同岡野生涯学習専門アドバイザー，同鈴木生涯学習専門アドバイザー，同岩渕生涯学習専門アドバイザー，影山コーディネーター

4 内容

（1）開会

（2）生涯学習部長あいさつ

（3）議長あいさつ

（4）前回会議のふりかえり

（5）協議事項（グループワーク）

「みんなの子育て広場」の新たな形を企画

（6）事務連絡

（7）閉会

5 会議概要

（1）前回会議のふりかえり

事務局から会議資料に沿って説明。

(2) 協議事項（グループワーク）

前回会議で挙げた壁（課題）に対し、「みんなの子育て広場」における具体的な支援策について、班ごとに分かれて企画立案を行った。

【A班発表】

企画タイトル	褒めるだけじゃダメですか？
課題（壁）	褒め方がわからない
対象者	保護者，地域住民，教員
必要な人・資源	・生涯学習専門アドバイザー ・みんなの子育て広場コーディネーター ・子どもの人権等について知見のある専門家
事業内容	①子育ての苦労等を語り合い，参加者同士で褒め合うワーク ②専門家（子どもの人権等）による「褒める・認める」の本質についての講演 ③ワークショップ ・「褒め達人検定の試み」 ・各自の「褒める基準」の整理 ・実践で使える「褒め方リスト」の作成
参加してもらったための工夫	・事前アンケート等で「子どもの考えやリアルな姿」を把握・提示し，参加意欲を喚起 ・授業参観など学校行事に合わせて開催

【B班発表】

企画タイトル	「正解さがし」を超えて～発見と共有～
課題（壁）	親も個人としての自分らしさの対応 （「輝く自分」と「良い子育て」の両立が理想とされ求められる中で，現実とのギャップから自信が持てない）
対象者	「親」と「子」のグループ

必要な人・資源	・生涯学習専門アドバイザー ・みんなの子育て広場コーディネーター ・保護者 ・地域の人・場 ・隣の小学校の教員
事業内容	①トークフォークダンス ②フォトロゲイニング（地域探索ゲーム） ③まちあるき
参加してもらうための工夫	・評価や正解を求めない「緩やかな参加形態」 ・ゲーム性を取り入れ，親子で楽しめる共通体験を演出

【C班発表】

企画タイトル	かしわ生きカタログ
課題（壁）	多様な生き方を知る機会がない
対象者	保護者，子ども
必要な人・資源	・生涯学習専門アドバイザー ・みんなの子育て広場コーディネーター ・「大成功した人」ではなく「自分らしく生きている身近な人」
事業内容	①ニーズ調査（各校・地域） ②屋台形式の交流・講演会 一方的な講義ではなく，ブース（屋台）を巡りながら，講師陣（多様な生き方をしてきた人や身近な人）と直接対話ができる体験型イベントを実施 ③学校のホームページや Web を活用した「知る」機会の確保
参加してもらうための工夫	・地域のニーズに応じたテーマ設定 ・身近な関係性づくりと相談支援 ・アーカイブ配信による継続的な情報提供

6 傍聴者
1 人

以上